令和 6 年度第 1 回大垣市スポーツ推進審議会 会議録

日時	令和 6 年 8 月 26 日（月） 17 時 00 分～18 時 30 分
場所	大垣市役所 8 階 大会議室
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会のことば 2 会長挨拶 3 教育長あいさつ 4 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和 5 年度スポーツ推進事業実績について (2) 令和 6 年度スポーツ推進事業について (3) 大垣市第 2 次教育振興基本計画の進捗状況について (4) 大垣市第 2 次教育振興基本計画の改定について 5 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 部活動地域移行の進捗状況について 6 閉会のことば
出席者	<p>委員 11 名、オブザーバー 1 名、事務局 7 名 計 19 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大垣市スポーツ推進審議会委員（敬称略） 堤俊彦、高橋正紀、山田幸隆、篠田亨、川瀬尚志、川合麻美、山口敏文、都竹直孝、臼井好美、松山昌代、安田英理乃 ・オブザーバー 関琢磨 ・事務局 細江敦（教育長）、平松善幸（教育委員会事務局長）、林昭義（社会教育スポーツ課長）、水野哲也（同課参事）、細野雄樹（同課参事）、洞口直樹（同課主幹）、廣島明美（同課主査）
欠席者	<p>委員 1 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大垣市スポーツ推進審議会委員（敬称略） 平松哲
傍聴者	1 名
事務局	1 開会のことば（略）※議事以外の司会進行
会長	2 会長あいさつ（略）
教育長	3 教育長挨拶（略）

<p>会長</p>	<p>4 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席委員数及び審議会成立の報告 (大垣市スポーツ推進審議会設置条例第6条第2項) ・傍聴者の報告 ※傍聴者1名 ・議事進行 (大垣市スポーツ推進審議会設置条例第5条第3項) <p>『議事(1) 令和5年度スポーツ推進事業実績について』事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>※ 『議事(1) 令和5年度スポーツ推進事業実績について』(資料1)を説明</p>
<p>会長</p>	<p>議事(1)について、事務局から説明がありました。ご意見やご質問はございませんでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>会長</p>	<p>『議事(2) 令和6年度スポーツ推進事業について』事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>※ 『議事(2) 令和6年度スポーツ推進事業について』(資料2)を説明</p>
<p>会長</p>	<p>議事(2)について、事務局から説明がありました。ご意見やご質問はございませんでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>コミュニティスポーツ振興事業の赤坂かなぶやまスポーツクラブのかなぶやまとは地名ですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>金生山のことを地元ではかなぶやまと呼ばれているためそのような名前を付けたと聞いております。子どもからお年寄りま</p>

	<p>で参加できるスポーツイベントを実施していただいております、市から補助しています。</p>
委員	<p>同じくコミュニティスポーツ振興事業のスポーツ講演会は、川合さんを講師として調整中ということですか。</p>
事務局	<p>体育連盟において、現在日本バレーボール協会会長であり、元バレーボール日本代表の川合俊一氏と調整中と聞いております。</p>
委員	<p>講師は川合氏でほぼ決定で、日時等を調整中のようです。</p>
会長	<p>他に、ご意見等ないようですので、続きまして『議事(3) 大垣市第 2 次教育振興基本計画の進捗状況について』事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>※ 『議事(3) 大垣市第 2 次教育振興基本計画の進捗状況について』(資料 3) を説明</p>
会長	<p>議事(3)について、事務局から説明がありました。ご意見やご質問はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>基本目標 3 の意識的に運動している人の割合についてですが、令和 4 年度、令和 5 年度と実績は上がっているのに、なぜ、令和 6 年度の目標値はそれより低い値を設定しているのですか。</p>
事務局	<p>教育振興基本計画を策定した令和元年度に、令和 2 年度から令和 6 年度の 5 年分の目標値を設定したものとなります。コロナの影響もあり、家で意識的にスポーツをした方が増えた結果、目標値を大きく更新したと思われまます。</p>
委員	<p>控えめな目標となったようですが、コロナから徐々に復活しているということですね。</p>

委員	<p>単年度で見ると目標はクリアしていますが、令和 4 年度から令和 5 年度は 0.5%しか増えていません。この 5 年間の目標値は、1.1%ずつの増と設定していますが、それは満たしていないということになります。</p>
委員	<p>この目標値だと何も取り組まなくても達成できることになると思います。医療費削減の観点からみても、これはとても重要な数値だと思います。</p>
委員	<p>基本目標 1 の全国・国際大会等への出場者数について、スポーツだけの話ではありませんが、子どもの数は減っていくのに、指標を子どもの数とするのは難しいと思われますので今後の課題だと思います。</p>
委員	<p>計画というものは、常に臨機応変に修正するのが大前提です。過去の数値にとらわれてはいけないと思います。川瀬委員の言われるように実質的な指標に変えても良いのかと思います。</p>
事務局	<p>おっしゃるように子どもの数は減っていますので数で追っていくのは難しく、ひとつの見方として、子ども 1,000 人当りに換算して指標にすることはどうかということも検討しております。5 年間立てた数値に固執しているところもありましたが、状況は変わっていくので、その数値については弾力的に見直すことも必要だと認識しております。</p>
会長	<p>『議事(4) 大垣市第 2 次教育振興基本計画の改定について』事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>※ 『議事(4) 大垣市第 2 次教育振興基本計画の改定について』(資料 4) を説明</p>
会長	<p>議事(4)について、事務局から説明がありました。ご意見やご質問はございませんでしょうか。</p>

委員	<p>基本目標 3 のヘルシーウォーク実施率ですが、県のスポーツ実施促進アプリは連動させていますか。全く活用されていない市町が多いようですが。</p>
事務局	<p>連動はしていませんが、市では保健センターから各校区に啓発しています。保健センターからスポーツにおいても情報を提供するようにということで、スポーツ推進委員を通じて啓発をしています。</p>
委員	<p>スポーツフェスティバルでも啓発されていきました。景品があまり良くないという意見もあって、ポイント還元が様々なところでできると良いと思います。</p>
委員	<p>魅力がないということですね。</p>
委員	<p>現実的な意見だと思います。</p>
委員	<p>改定案において、親子という文言を入れてもらいましたが非常に良いと思います。学校現場から見ますと、少子化で親と子の影響は非常に大きいため、親が読書に興味を持つと子も読書に興味を持つのと同様に、親がスポーツに親しみを持つと子もそのようになります。</p> <p>また、地域クラブという文言も入れてもらいましたが、現実に即した良い内容だと思います。地域の子どもたちの様子を見ると親さんが熱心にやれる家庭と、親が土日仕事で民間クラブや少年団に入れられない家庭もあります。スポーツではないですが、土日居場所がない子が地区センターに集まり学ぶ場となる土曜クラブのように、スポーツにおいても、宇留生地区は地区の中でそのような活動をやっています。</p>
事務局	<p>地域でそのように進めていく方を育成していく必要があります。アンケートを取ると 30 代から 40 代の方が運動をできていないため、子どもと一緒にやってもらえると良いと思います。</p>

委員	低学年に親子で一緒にやることは良いことです。
委員	私も息子が小さいころ、地元の小学校でママパパサッカーをやっていましたが、今は成人したその子たちが、当時それが一番楽しかったと言います。きっかけづくりとして、親子で力を入れてやってもらえるのはとても良いと思います。
委員	30代から40代は、現実として、日中は仕事、夜は子どもの送迎やご飯作りと忙しく、スポーツの時間を作り出すのが難しい年代と痛感しています。
事務局	2時間、3時間も拘束されることのない取り組みが重要だと思います。
委員	時間もですが、近場でできるということも重要かと思います。
委員	<p>幼少期からの積み重ねで、少年団等に参加し、専門分野に行き選手になっていくと思うのですが、ACP（子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きを習得する運動プログラム）に祖父母世代を取り込むと生涯スポーツにもつながり良いと思います。</p> <p>また、各企業が優秀なクラブを持っています。例えば、シーズンオフに西濃運輸の野球部が少年団の子どもたちに教えることで、スポーツのすばらしさを伝えていけたら良いと思います。</p>
会長	他にご発言もないようですので、以上をもちまして、全ての議事を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。
事務局	<p>5 その他</p> <p>堤会長、ありがとうございました。それでは、最後に『その他(1) 部活動地域移行の進捗状況について』事務局から説明いたします。</p>

事務局	<p>※ 『その他(1) 部活動地域移行の進捗状況について』(資料 5) を説明</p>
事務局	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見やご質問はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>情報共有ですが、昨日、部活動学会が東京でありました。中小路さんという記者の方が、全国の部活動地域移行の課題を情報収集してみえて、先進事例として柏市と掛川市を紹介してみえました。</p> <p>柏市では、地域クラブ指導員 250 名が実働で動いていて、そのうち半分以上の 150 人が教員ということです。指導者に対しては、10～15 時間の研修を独自にやっていて、時給は 1,500～1,600 円だそうです。また、親の負担は月 2,000 円で、困窮世帯への支援もあるそうです。</p> <p>また、掛川市は、市民意識が高く、全て地域クラブに移行されていて、月々の親の負担は 5,000 円から 8,000 円で、困窮世帯への支援もあるそうです。</p> <p>中小路さんから問題提起されていたのは、運営母体の人材不足です。統一された基準で各地域クラブが活動するには、運営母体が重要となるわけですが、指導者の不足ではなく、その運営母体の人材、マネジメント側の不足が問題になっている市があるということでした。大垣市は体育連盟があるから大丈夫かと思いますが。</p> <p>また、障がい者スポーツへの対応という視点が抜けがちということもおっしゃっていました。私もいつ障がい者になるかわからないわけですが、地域移行は基本、誰一人取り残さないということですので、その多様性の視点は必要だと思います。</p>
委員	<p>柏市と掛川市が先進事例ということですね。市民の意識が強い市ですから。</p>
事務局	<p>6 閉会のことば (略)</p>

委員の皆様には、長時間にわたりご審議いただき、感謝を申し上げます。委員の皆様から頂戴した貴重なご意見をもとに、次回
の開催に活かしてまいりたいと存じます。

最後に、次回第2回の開催につきましては、10月31日（木）
の17時より、会場は6-3、6-4会議室にて開催いたしますので、
ご協力のほどよろしくご願ひいたします。期日が近づきましたら、
改めてご案内をさせていただきます。

それでは、以上をもちまして、「令和6年度第1回大垣市垣市
スポーツ推進審議会」を終了させていただきます。本日は、誠に
ありがとうございました。

前記のとおり、相違のないことを証するため署名捺印する。

令和6年9月9日

議長 堤 俊彦 ㊟

本会議録の作成に係る職務を行った者

社会教育スポーツ課 林 昭義 ㊟

捺印されている原本は、大垣市スポーツ推進審議会事務局（社会教育スポー
ツ課）で保管しております。